

第2回 道路のA I活用検討会 議事要旨

1. 日時；令和3年2月22日（月）13：30～14：00
2. 場所；Web 会議（中部地方整備局、中日本高速道路株式会社、三重県）
3. 要旨

【挨拶；三重県水野県土整備部長】

三重県では、A Iカメラを今年度内に運用する。

直轄国道データや、将来は高速道路データも合わせて提供していきたい。

今後、道路交通の把握、災害時のA Iカメラの活用について、国土交通省道路局の動向も見ながら、三重県内での取組を充実させていきたい。

【意見交換】

各構成員のご意見等

○合田保全・サービス事業部長

データ収集だけが目的ではなく、収集し提供することで行動変容に繋がっていくということを目指す点についてはよい取組と思う。

我々も情報提供の方法等について難しい部分も感じており行動変容につながるためには工夫が必要。

高速道路データについては、社内でどのような形で連携できるのか検討したい。

○松居道路部長

できることから始めるという方向においてはよい取組。さらに、今後の方向として、直轄国道、高速道路等との連携も視野に入れてシステム構築する方向性はよい。

雪の対応等によりかなり広い範囲で、例えば高速道路のジャンクション間で車両を止めるということがかなり出てきている。このような時には車の流れが大きく変わるので、このようなシステムがあると、地域交通などの分析ができ、目指す方法と合致しているのではないか。

国土強靱化5か年加速化対策の一環で、三重県内でカメラを増設する計画がある。地域交通の流れを把握できる箇所への設置を検討し、そのデータも活用して国の情報提供とあわせて、利用者にわかりやすい形で提供できればよい。

○水野県土整備部長

今年の9月に三重県で国体がある。また各種イベントに合わせてカメラを活用し交通の情報提供を工夫したい。

○松居道路部長

カメラの設置場所は交通管理者と協議を進めるが、情報交換をしながらより良い場所の設置に向け調整していきたい。

○合田保全・サービス事業部長

道路構造物の管理という視点、雪などの災害時の活用において、いかに早く情報収集できるかという点においては、まだまだ課題がある。改善すべき事項もあるが連携し情報共有をしていきたい。